

毎週日曜発行
2023 9/10

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



地球のためにできること

小牛田農林高 紛争地の子に服



小牛田農林高(宮城県美里町)の生徒有志が、着なくなった子ども服を集め、世界の紛争地などの難民に送る活動をしているよ。国連の持続可能な開発目標(SDGs)の12番目「つくる責任」

きょうのテーマ

気候や環境を考え届ける

12 つくる責任
つかう責任



「届けよう、服のチカラ」プロジェクトで、ユニクロやジーユーを運営するファーストリテイリング(山口市)が国連難民高等弁務官事務所(UHCR)と協力して行っています。同校は昨年

から参加しました。生徒46人が地域に呼びかけ、赤ちゃんサイズから160センチまで、不要になった子ども服を町役場やイベント会場で回収したところ、段ボール38箱分にもなりました。今年(2023)は総合学科の1、3年生18人が取り組みま



す。2年佐々木綾我さん(16)は「身近な服で人を助けられるのがいい。困っている人に気候や環境に合う服を届けたい」と参加理由を説明します。

7月、ファーストリテイリングの担当者による出前授業を受け、衣服の役割や難民の現状、資源を再利用する意義を学びました。ポスターや回収箱を制作し、地域の施設に設置をお願いするなど9月下旬以降に活動を本格化させ、11月に古着を発送するそうです。

「生徒は世界の動きと身の回りとのつながりを意識するようになってい」と鈴木崇之(たかゆき)・総合学科長(35)。「SDGsへの関心を高め、地域に働きかけて子どもたちに分かりやすく伝えるなど、発信することでさらに理解が広がる」と期待します。

2年渡辺頼斗さん(16)は「服は使われなくなっ



てたくさん捨てられていく。少しでも長く使われるよう、自分たちにできることをしていきたい」と意欲的です。

回収箱

「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに取り組む生徒たち
＝宮城県美里町の小牛田農林高

今週の注目ニュース

◇14日(木) 重力波を初検出

2016年のこの日、米国の重力波望遠鏡が世界で初めて重力波を検出しました。重力波は物体が動いた時に生まれる空間のゆがみが光速で伝わる現象で、物理学者アインシュタインが1916年に存在を予言しました。

みんなの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者レポート

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ